

江東未来会議

第3分科会（健康・福祉分野）

第4回 議事概要

日時：平成19年11月27日（火）19:00～21:00

場所：江東区文化センター 2階会議室

参加人数：18人

1. 開会

2. 配付資料の概要について

【事務局より資料説明】

3. ワークショップ

（1）ワークショップの進め方について

【事務局より資料説明】

（質疑）

（2）ワークショップの実施

①作業

前回と同様のグループで、前回の議論に引き続き、論点の整理とあるべき姿・課題・今後の取り組みの検討を行った。

【グループ毎に作業】

【作業結果】詳細は別紙（第4回 江東区未来会議（第3分科会：健康・福祉分野）グループ討議結果）参照

②発表

グループ毎に発表を行った

○Aグループ

- ・まとめたものは3つある。
- ・まず、横社会と縦社会の関係が希薄であること、孤老生活者の対応がなされていないことが課題である。この大きな問題の根本は、個人情報保護法であり、将来のあり方について検討が必要である。
- ・これに対して、高齢者の社会参画が重要であり、自分の住んでいるところを守ることが大事だと強く思う。
- ・2番目は、医療・介護保険の制度が不足していることである。江東区の人口が増加して

いるのに対して、病院の数が不足している、個人経営の病院の先生の高齢化、老人ホームの数が足りないという現状がある。将来は、施設の充実を図るとともに、緊急時に相談出来る場所を創ることが重要である。加えて、介護福祉士やホームヘルパーを養成する仕組みを実現することが必要である。また、義務教育の中に、看護・医療関係の授業を取り入れるといったことも必要である。

- ・3つめは、高齢者の活動を進めるためのバリアフリー化を実現することである。情報のバリアが非常に高い。視覚障害者、聴覚障害者などに対して、いろいろなコミュニケーションの方法があればよいが、現在はそういう状況ではない。また、各施設の利用料が高いといった問題もある。音声の他に、障害者に対して、特徴のある情報提供の方法が必要となる。

○Bグループ

- ・高齢者が安心して生活出来る区にしたいということが大命題とした。
- ・その命題を達成するためには、「体」「心」「経済問題」の3つが必要であると捉えた。
- ・「体」については、介護保険制度がより使いやすく広まっていることが重要であるとし、現状の課題としては、介護が進んでいない、高齢者の比率が高い割には施策が不足している、高齢者の不安を解決する仕組みが整っていない、高齢者施設の不足、老人ホームに入れない、成年後見制度（介護保険制度とセットになっている）などに対する知識が不足しているということが挙げられている。将来像としてはこれらの課題が解決している状態として整理されている。
- ・また、もう少し大きな話としては、現在縦割りの制度間の横のつながりが良くなっているという意見も挙げられた。
- ・「心」については、高齢者が様々な仲間と過ごせる地域になっているということとした。課題としては、閉じこもりが大きくなっていることや、悪徳医療機関があるといったことであり、これらを解決されている状態が将来像であると整理している。例えば高齢者が閉じこもっているという課題であれば、高齢者が表に出て健康寿命のアップにつながっている、日常生活を支える福祉サービスの向上などといった話がある。また、今後の取り組みとしては、助け合い精神の醸成などとしている。さらにいえば、地域のネットワーク化が必要ではないかという話が出ている。
- ・「経済問題」については、安全・安定した生活ができるということとしており、介護保険負担料の提言や、情報弱者への対応が進んでいるということが挙げられている。

○Cグループ

- ・各グループで様々な意見が出たが、ここで強調したいのは土地があるうちに、火葬場をつくること。
- ・グループホームについては、他人同士が一家族になって共同生活を送るといった提案も出ている。
- ・また高齢者が働く場所、勉強する場所が必要である。認知症を防ぐという意味でも、勉強する窓口を広げるということである。
- ・楽しく毎日生活をするためには、忙しくしていることであると思う。

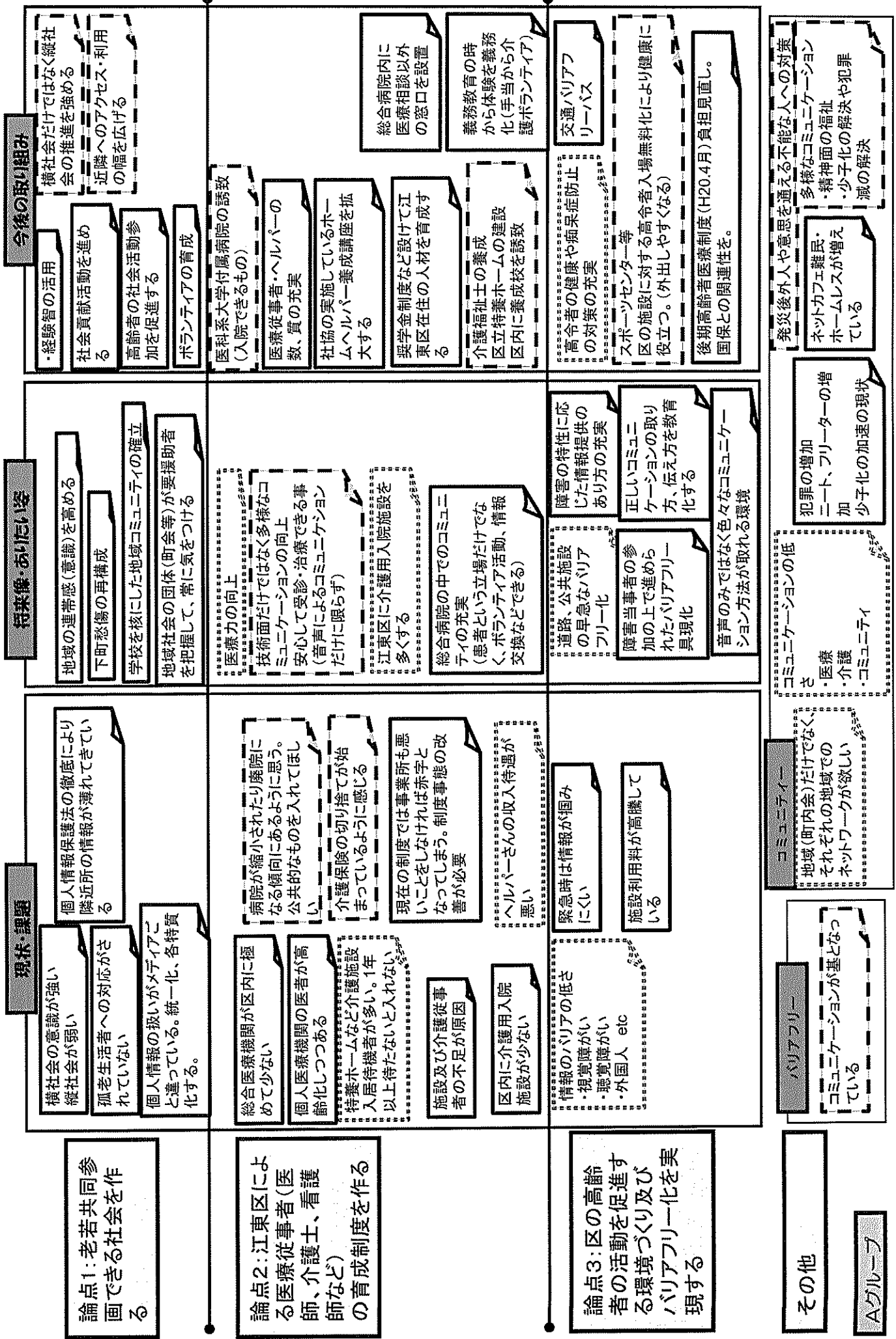
5. その他

- 12月10日に幹事会をすることを決定し、各グループから幹事を選出した。
- 第6回を1月31日、第7回を2月19日とすることとした。

6. 閉会

以上

第4回 江東未来会議 第3分科会(健康・福祉分野) 討議結果



現状・課題

論点1-1:体
介護保険が、より有意義な生活を営む為に、より使いやすく、拡まっている。

介護家族の横のつながりが必要
ヘルパーの給与水準が低下している
江東区は高齢者の比率が高くなる割にそれに対する施策がない
高齢者の不安を解決する仕組みが整っていない
成年後見制度の理解者が少ない
二年待ちの特養ホームも面接で落とされる現状はなんともならないのか

将来像・ありたい姿

医療機関のたらいまわしなくしたい
成年後見制度の理解者が多くなっている
現在、縦割りの保険・医療・福祉等の行政の仕組みが、統合され横の連絡が良くなっている
ヘルパーの労働条件が改善され、ヘルパーが増えている
老人らからぬえき方を
日常生活を支える福祉サービスの提供
引きこもりがちな高齢者を表へ出してゲーム、健康維持、向上に役立つように、ボランティアの人を活用して、健康寿命アップにつなげたい
悪徳医療機関がなくなる

今後の取り組み

介護予防事業のPR普及
相談窓口を広くする
要介護予防や老年症候群(転倒・低栄養症・口腔ケア、失禁etc.)の予防
介護保険制度の高度化
老人の医療機関検診を集団検診化
利用できる制度を個人個人に知らせること
特養ホームへの入居者が少なくなる(健康なお年寄りの増加)
「後見人」養成講座が常に開催されている
高齢者施設が充実し増加している
縦割りから「統合」への検討(オンプズマンの導入)

論点1-2:心
いろいろな仲間と気持ち良く過ごせる地域になっている

閉じこもる高齢者が出て始めている
悪徳医療機関が多い
正しい老い支度
狡猾老人にならぬような教育
つれあいに先立たれたら、つきあいが少なくなる
年金の手取り額が目減りしている
国保保険の未加入者が多い。
年金生活のため、未払いが発生する。
情報弱者(=高齢者)が多い
高齢者が目減りしている
悪徳医療機関がなくなる
高齢になっても衣・食・住に支障がない
高齢者に対する医療費支援がなされている
情報弱者を対象にした情報伝達が良好となっている(年金、医療費、etc)

論点1-3:さいふ
(経済問題)
安定・安心した生活ができる

ボランティアの活用
地域ぐるみの助け合い精神の醸成
(高令化社会への対応)
在宅介護の支援
悪徳医療機関の公表
日常生活にうるおいを与えるイベントの企画
健康イベントの開催
憩い施設の設定
地域(身近な)ネットワークの充実化
悪徳医療機関の公表
国保未加入者の医療費負担をなくす
最低生活水準の保証
交通機関が安くて利用しやすい(区内循環型)
情報弱者も対象とした情報伝達システムの確立
高齢者の医療費負担の低減
資産、収入に応じた負担をする
高齢者の雇用場所の確保
ボランティア等、高齢者が活動できる場所の確保

第4回 江東未来会議 第3分科会(健康・福祉分野) 討議結果

| 現状・課題 | 将来像・おきたい姿 | 今後の取り組み |
|---|---|--|
| <p>論点1: 高齢者が自立した生活を送る</p> <p>与えるというのではなく(主体者に)自立・自助の障害を取り除く 社会参加の保証</p> <p>認知症が増えていく。不安である。1人暮らしの場合は特に。</p> <p>自立を支えるための収入が必要＝働く機会</p> <p>老々介護の現状と知恵</p> <p>老々介護で共倒れ</p> <p>老々介護を支える知恵・仕組みがない</p> | <p>身体<small>の健康</small></p> <p>高齢者として社会にとって役割を持つ＝社会参加</p> <p>自分の趣味とか、これまでやってきたことが役立つ環境</p> <p>心の健康</p> | <p>高令者委員会の設置 区の政策に意見を上げる</p> <p>高齢者のグループホームの建設 独り暮らしや認知症もふえているのでグループの助け合いで</p> <p>高齢者の共同住宅</p> <p>1人暮らしの人、グループで生活する</p> |
| <p>論点2: 高齢者の生きがい</p> <p>高齢者はヒマがあるが金銭的に余裕なし。 ヒマは学びたい人多し</p> <p>認知症にならないように元気に学ばなければならない</p> <p>学びたいが、その費用が高い</p> <p>学びたいが、その機会・場が少ない</p> | <p>ハコモノだけではなく運営などのソフトが充実</p> <p>老後の健康維持 快適な生活ができる施設の拡充</p> <p>高齢になるとリハビリをすることによって機能が向上する 場合が多いと思う。 リハビリ施設の充実を!</p> | <p>働くところを与える</p> <p>学ぶ機会・場を増やす</p> <p>勉学の機会を与える</p> <p>高齢者の持つているものを生かす。 指導者を養成</p> <p>高令者の生涯学習の普及</p> <p>10年後は確実に増えると思うので、ぜひ実現を!</p> |
| <p>論点3: 安心して住める街づくり</p> <p>火葬場を区内に。 他区にたらい回しされて、火葬するまで費用がかかる。安心できない。</p> <p>1人暮らし高齢者のサポート</p> | <p>江東区は23区の中で医師の数が少ないようだが、人口急増地域なので、心配です。 ぜひ公立の病院を建設してほしい</p> <p>適正な価格で医療サービスが受けられる公立病院の拡充</p> <p>＜病院の体制＞ 私人としては救急車は使わないようにしている すぐ急患を受入れる病院へは行きたくない</p> | <p>現在都議の柿沢未途氏が江東区・墨田区・江戸川区の合併構想を出しているが江東区はどうか対応するつもりなのか</p> |
| <p>その他</p> | <p>①グループ</p> | |